

## 冷凍食品業界における容器包装3R推進のための自主行動計画

### 第5回フォローアップ調査結果

社団法人日本冷凍食品協会

#### <はじめに>

社団法人日本冷凍食品協会は、2006年（平成18年）3月に『冷凍食品業界における容器包装3R推進のための自主行動計画』を策定しています。

3Rとは、リデュース(Reduce:減量)、リユース(Reuse:再利用)、リサイクル(Recycle:再生利用)のことですが、上記の自主行動計画では、このうちプラスチック製容器包装のリデュースについて「2010年度までに2004年度実績比3%削減(原単位)」という数値目標を定めています。また、容器包装リサイクル法の対象が一般廃棄物として家庭から排出される容器包装であることから、調査対象は家庭用冷凍食品の容器包装に限定しています。

この自主行動計画では、「取組みの結果については毎年度検証し、公表する」としていることから、第5回フォローアップ調査(2010年度)を実施し、家庭用冷凍食品メーカー大手8社にご協力いただきました。

#### <2010年度の調査結果について>

結果は下表のとおりで、2010年度の家庭用冷凍食品容器包装のプラスチック使用量原単位(冷凍食品販売数量1トン当たり)は、2004年度比で5.8%減少しました。

「2010年度までに原単位で3%削減」という数値目標は2007年度にすでに達成し、その後も、僅かながら低下を続けています。

これは、家庭用冷凍食品では、

- ◆プラスチックトレイの廃止や薄肉化
- ◆パッケージのダウンサイジング
- ◆包装フィルムの材質変更による軽量化

など、プラスチック使用量削減に取り組んだ対象商品数が、着実に増加した結果と考えられます。

包装が持つ機能の維持を考慮すると、削減が限界に近いと思われる結果となっていますが、冷凍食品業界では、今後もプラスチック容器包装の削減の努力を続けていきます。

#### 【問い合わせ先】

社団法人日本冷凍食品協会 企画調査課 梶田

TEL 03-3541-3003

E-mail kajita@reishokukyo.or.jp

**<第5回フォローアップ調査結果>**

調査対象：家庭用冷凍食品を製造・販売する大手8社

対象商品：プラスチック製容器包装を使用した家庭用冷凍食品

指 数：2004年度を100とする

目 標：2010年度までに2004年度実績比3%削減（原単位）

| 年 次             | 2004年<br>度 | 2005年<br>度 | 2006年<br>度 | 2007年<br>度 | 2008年<br>度 | 2009年<br>度 | 2010年<br>度    |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------|
| 容器包装使用量<br>(トン) | 13,824     | 14,592     | 14,611     | 13,969     | 14,249     | 14,150     | <b>14,683</b> |
| 同 指数            | 100.0      | 105.6      | 105.7      | 101.0      | 103.1      | 102.4      | <b>106.2</b>  |
| 製品販売量 指数        | 100.0      | 105.1      | 105.0      | 106.3      | 107.9      | 108.0      | <b>112.8</b>  |
| 原単位             | 100.0      | 100.5      | 100.7      | 95.1       | 95.6       | 94.8       | <b>94.2</b>   |

